みいけ主婦会
[illegible]大牟田市不知火町[illegible]
三池炭鉱主婦会
電話で知らせるとき＝市内8033・7140　炭鉱　474・528
※責任者組織部長　渋田一恵

話合いから実行へ

第三回　大牟田地区母親大会

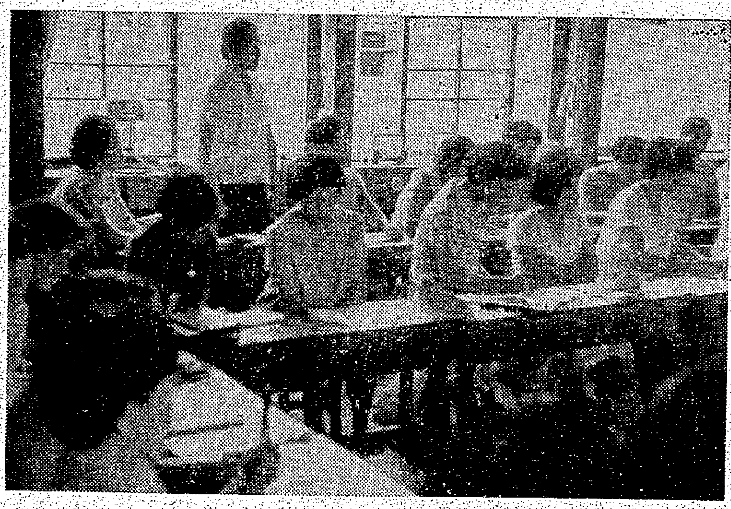
大牟田地区母親大会も三回目を迎え中友小学校で七月二十二日にひらかれました。大会は午前中十分科会に分れて討議し午後は全体会議をひらき、十六項目にわたる決議や、こんごあらゆる障害をのりこえて歩みつづける旨の大会宣言を発表して、こんごの活動を誓い大会を終了しました。

第三回大牟田地区母親大会は七月二十二日午前九時三十分から、中友小学校に大牟田地区の各階層の母親たちが集ってひらかれました。

午前中はつぎの十分科会に分れてお互いの意見や、母親としてこれらの運動にどう取組んでゆくかが話合われました

一、幼い子供と保育所つくり
二、学力としつけ
三、子供の健康について
四、教育と政治
五、青年の問題
六、地方自治体と私達のくらし
七、仂く婦人の問題
八、社会保障の問題
九、平和と私達の権利
十、仲間づくりと母親運動

分科会のあと午後一時半から全体会議がひらかれました。


―仂く婦人の問題の分科会場―

学習と話合いを

各分科会での意見や、大会での感想を各支部組織部長に集って話してもらいました。

七分科会の「仂く婦人の問題」で述べられた意見として、内耺に行くと「どかちん」などの表現で呼ぶ人があり、耺業に貴せんはないのに軽べつして呼び方をする、とてもいやな気がする。ということや同じ仕事をしながら男女の賃金が差別されている、などが強調されました。また、共稼ぎしようと思っても保育所に高い金を払わねばならない点が強くあげられています。

九分科会の「平和と私達の権利」で、平和は全部の人が望んでいるのに、現在の社会は軍国主義の色が濃くなっている。また戦争の怖さを知らない人が大きくなっている。この人たちに戦争の怖しさを知ってもらうにはどう教育すればよいか、が切実な問題として出されました。

十分科会の「仲間づくりと母親運動」では(1)仲間づくりをどうするか(2)仲間づくりを阻むもの(3)それを克服してどう組織をつくるか、の柱を中心に話合いました。

とくに全体会議の中で注目されたのは、現場の先生から子供の作文が発表されたことでそれは学力テストの問題でした。作文を読んだ後、その先生は「子供はどういう考えをもっています。子供なりに教師を批判しています。教組の戦術が変更されああいう形になりましたが、それを母親の立場から子供たちにハッキリ説明するようにしなければならないと思います」といわれましたが、このためにも学習の必要が痛感されています。この外、失対打切り、生活保護の問題、高校全入、保育所の問題など貴重な意見が出されましたが、紙面の都合で割愛いたします。

みんなが発言を

さいごに、こんどの大会に対する感想として、つぎの点があげられました。

○発言する人としない人の差がひどい。全員が一口でも発言されるように、参加する人も、主催者もそういうふんいきをつくってほしい。

○組合用語のような難かしい言葉が多く一般の方に理解しにくい。もうすこし程度を下げればもっとみんなのお母さん方に拡がると思う

○折角参加したのに、最後までいる人が少い。

○全体会議では各分会の内容を文章化して読み上げられているが、それよりも的確に分るよう説明される方が理解しやすい。短かくてもよいから要点だけまとめて説明してもらいたい。

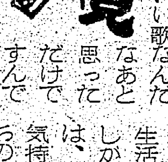
○昨年も今年も例年テーマーは同じだが、一年一年断絶してつながりがない。一つでもよいから大会を機に、前年の中から土産話ができるような運動をした報告があればと思う。討議だけに終らぬようにして欲しい。

坑口慰問

宮浦、四山で実施

主婦会では七月二十七日、宮浦、四山、三川支部で坑口慰問を計画していましたが、ちょうどこの日、新日窒労組への支援動員などの関係で、三川支部が中止、宮浦、四山支部では二番方を除いてそれぞれ坑口慰問を行ないました。この日は焼けつくように照りつける炎暑の中で正門、裏門でジュース、アメなどを昇坑した組合員に接待しました思わぬサービスに組合員は眼を細めてノドをうるおし主婦の坑口慰問に大喜び。

【写真は宮浦で】



おしえ

本所支部　主婦

まだ第二次大戦のあまり烈しくならない、ちょうどわたしが十七、八のころ。友だちといっしょに短い期間でしたが、習うというよりも遊びのような軽い気持で、習字を習いに行ったことがありました。何回目かの練習のときに「きょうはこれを練習して下さい」といって渡されたのが、つぎの歌だったのです。

錦を飾り綾をしき
花のうてなに住むとても
心の花の香らずば
如何でか永久に栄ゆらん

これを先生が低く口ずさみながらけい古させて下さったのです。

そのときは特別に思うところもなく、いい歌なんだなあと思っただけですんでいたのですが、年をとるにつけて、あああの歌はと思うようになったんです。

あのころのわたしたちは父の着物を再製したカスリのモンペに上着という、華やかさとはおよそ縁遠いかっこうだったことでしょう

そして、今また激しい差別待遇の悪条件の中で、ぐち一ついわず苦しみに堪えている夫とともに、真剣に生活と取り組んでいるわたしが、しみじみと思うことは、あのとき先生がどんな気持であの歌を、わたしたちの習字用として選んで下さったのか、無口な先生だったので何も口ではいわれなかったけれども、何かことあるごとに、この歌の教えを思い心の励ましにしております。

64名が支援に（水俣）

主婦会も炊出しや激励

一面掲載のように、水俣市の新日窒労組は二十三日から無期限ストに突入し、会社のロックアウトと第二組合結成の分裂攻撃に対して斗っています。

組合では直ちに支援にかけつけたが、主婦会でも二十七日六十四名が現地支援に向いました。

支援団は午後七時三十分に現地到着、まず十一班に編成して各地域へ入りました。

各地域へ配置されたのが夜の十時すぎ、班によっては夜の十二時すぎまで座談会をひらいたところがありました。

新日窒の組合員は二交替でピケに当っているため、地域では午前四時に起床して炊出しにかかっており、炊出しの支援、ピケに出発する組合員の見送りに当りました。

翌日は各拠点本部に合流して、三池主婦会を先頭に組合本部へ激励デモ（約一、〇〇〇名）、また第二組合員が立こもっているアパートへデモを行ないました。

このあと、炊出しの合間を見て昨日座談会をもてなかった班は座談会をひらきました

最終日の二十九日は午前十時半に全員集合、現地の主婦の会とともに正門デモ、各所のピケ隊の激励を行ないました。

このあと、主婦の会は道の両側に駅までならび、中央を主婦会・組合員が駅まで帰るのを見送ったが、現地の主婦の会の人たちはほとんどが泣いて手を握り合い「また来て下さい。今日は帰したくありませんが……」とお互いが泣いて別れを惜しむという感激の場面でした。

また、列車が発車するまでプラットホームは見送りの主婦たちでギッシリで、発車後も沿線の各拠点本部や各駅で総出の見送りをし、いつまでも手を振りつづけていました

現地の組合員、主婦たちは座談会の中で「最初は不安でしたが、第二組合だけは絶対行かれません」と力強く斗志をたぎらせています。

編物教室開く

三日間の講習会

主婦会では就耺対策部のあっせんで、七月二十三、四、五の三日間延命会館で「レース編み」の講習会を行ないました。

いうまでもなくこれは、主婦の内耺のための技術習得を目的としたもので、特殊な編物として東京の編物の先生からあっせんをうけて、大分市の方から江藤先生にも来てもらったものです。

希望者が八十数名あり三日間にわたって「アフガン編み」「レース編み」「普通の編物」などの技術マスターに汗の出るのも忘れて講習をうけました。一主婦は「内耺にするまではなかなか大変です」と手も休めずに話していました。

いのちうばわれし人々に

宮浦　田中静江

これは抗議二四ストまでおこった故波村、井手口、徳永三氏の死に対する主婦会宮前分会長田中静江さんの切々たる叫びです。

差別！　また差別！
この言葉のかげに尊い三名の生命は断たれた。
あまりにも無惨なこの死。
腹の底からある限りの声を出して呼びたい、
会社えの増しみの言葉を。
就労後幾人の犠牲者を出せばよいというのだろうか。
人ごとではない。仂く者の真実な気持だ。
御安全にと祈りつつ元気な姿を送り出す妻の一日の待ち長さはみんなのものだ。
出勤を笑顔で送りし妻なれど待てど帰らぬ人とはなりて
人の命をあまりにも軽くあしろう会社の態度を幾度か経験はしていても。
その度毎に私達は抗議して抗議しても抗議しても変災はつきず一万五千トン出すために保安も何もなく尊い人の命を紙くずのようにほうむり去って恥じない経営者ばかりだ。三池労組とか第二組合とかの問題ではなく共に立ち上がろう。
叫けべども再び帰り来ぬ人の影を忍びぬ通夜の席にて
すすり泣くみんなの声のみが、いかりをまじえて一言でもみんなの願いが通じるようにとはげしい。
しかしこれはただ悲しいだけの涙ではない。
なきがらの前に泣きふす妻や子の声とどかずや昇天の君は
夫を亡くした妻だけが知るこの胸中だ。
会社の重役がいかに祭壇の前で美文で殉耺をたたえたとて夫は決してよみがえりはしないのだ。!!
すがりつく二人の子供をいかにせん夫うばわれしこの妻の心は
あまりに非道な差別のかげにこのような悲しみが再び来ませぬように、団結と助け合いを強めましょう。差別のある限り石炭も出ないだろう。差別のある限り人々の幸せがどこにあるだろうか。

（一九六二年六月二十九日夜）

水害カンパ

◇カンパ金

三鉱連、三井田川労組、阿部竹松、三興タクシー、田河しょ油店、野田正人、三池労組不知火会（関東地区）、大牟田警察署

◇カンパ物資

炭労本部（三こん包・衣類）
三菱高島労組（米二俵、衣類四こん包）
全逓宮崎県北部支所、本州化学労組青婦部（和歌山市）、日本火薬労組小倉染料支部、三菱古賀山労組・主婦会